

Business Report

DAIDO STEEL GROUP Beyond the Special

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申しあげます。

ここに、第99期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)における事業概況についてご報告申しあげます。

2023年6月



代表取締役社長 清水哲也

第99期 株主通信

2022年4月1日から2023年3月31日まで



証券コード 5471

決算概況

2022年度の連結営業利益は、前期比100億4千万円増益の469億86百万円と過去最高益を達成しました。主要需要先である自動車関連の受注は、半導体を中心とした部品の供給不足の影響などにより減少し、また産業機械関連の受注も減少基調となるなど需要面の要因から鋼材売上数量は減少しましたが、エネルギー関係、環境関係を中心に自由鍛造品など高付加価値製品の受注は増加しました。主要原材料である鉄スクラップの価格の高止まりおよび合金鉄の価格の上昇に加え、電力などエネルギーコストも高騰しましたが、このコスト増加に対しては、適正マージンを確保するため、自社でのコスト削減の徹底に加え販売価格是正に継続して取り組みました。

自由鍛造品、半導体関連製品など高付加価値の製品群を拡大し、適正マージンを確保することに努めた結果、2023中期経営計画で掲げた「営業利益400億円」の目標を一年前倒しで達成することができました。

経営環境および今後の取り組み

2023年度は、主要需要先である自動車関連の需要は、半導体を中心とした部品の供給不足が徐々に解消され、年度後半にかけて緩やかに回復すると考えています。ただし、半導体製造装置関連、電気電子関係では2022年度後半から在庫調整の動きがみられ、需要の回復は不透明感があります。原材料価格を中心としたコスト面においても価格上昇のリスクがあり、当社としては、引き続き徹底したコスト削減努力を継続するとともに、適正な販売価格によるマージンの確保に努めてまいります。

ポートフォリオ改革については、エネルギー関係、環境関係を中心に更なる需要が見込まれる自由鍛造品や中長期的な成長が予想される半導体関連製品について、上方弾力性を確保する設備投資を行っていき、高付加価値製品へのシフトを加速させていきます。

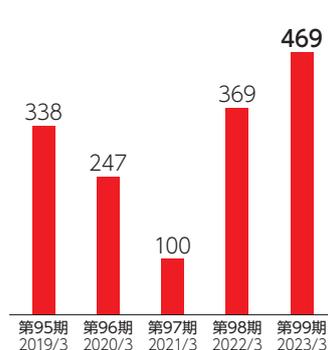
期末配当

期末配当は通期業績と今後必要な設備投資などを総合的に勘案し、1株あたり130円と決定させていただきました。なお、中間配当と合わせた年間配当は1株あたり230円となります。

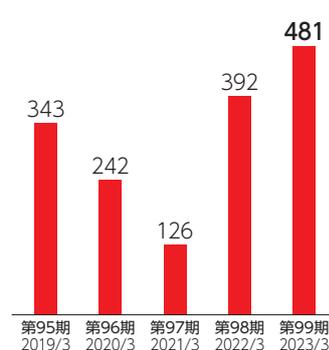
連結売上高 (億円)



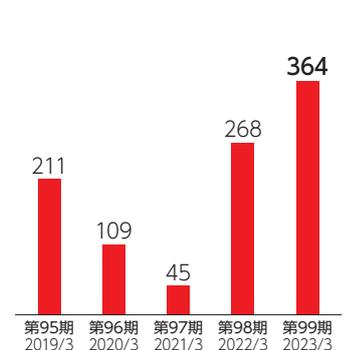
連結営業利益 (億円)



連結経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する連結当期純利益 (億円)



事業別の概況

特殊鋼鋼材



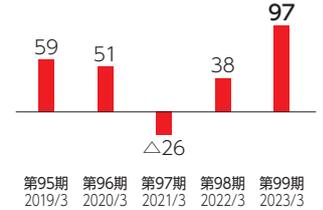
構造用鋼、軸受鋼、金型用の工具鋼など、主に自動車、産業機械分野で使用される屈強な素材の製造・販売をはじめ、原料、資材の調達、物流管理、流通に至るまで幅広い事業を展開しています。

売上高構成比
37.1%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



機能材料・磁性材料



ステンレス鋼、高合金、合金粉末、チタン、磁石製品、ターゲット材、ネジ・ボルトなど優れた機能を発揮する材料の開発、製造、販売を手がけています。

売上高構成比
38.0%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



自動車部品・産業機械部品



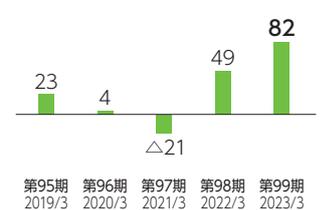
自動車部品・ベアリング向けの型鍛造品、エンジンバルブやターボ関連製品を主力とする精密鍛造品、発電機、大型輸送機、プラント向けの自由鍛造品、鍛鋼品を製造・販売しています。

売上高構成比
17.5%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



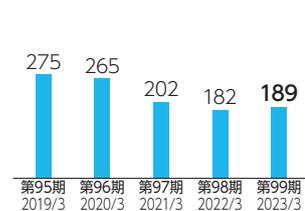
エンジニアリング



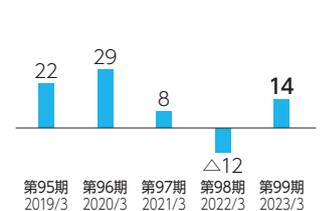
特殊鋼製造で培ったノウハウと技術を活かし、鉄鋼設備、工業炉、環境設備、各種機械の設計から施工、メンテナンスまで行っています。

売上高構成比
3.3%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



流通・サービス



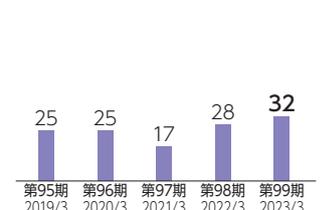
不動産事業、福利厚生、保険の取扱い、ゴルフ場経営、鉄鋼・セラミックス等の分析、情報システムの販売など多岐にわたる事業を展開しています。

売上高構成比
4.1%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



トピックス

半導体向けなどの生産能力拡大投資を推進、成長分野のビジネスを拡大

当社は、今後の需要拡大が見込まれる半導体製造装置や航空機エンジンに使われる高級鋼の更なる増産を図るため、特殊溶解設備の真空アーク再溶解炉(VAR)を、2023年8月までに渋川工場(群馬県渋川市)に1基、2024年度末までに知多第2工場(愛知県知多市)に2基、総投資額およそ60億円で新設します。

当社はこれまで、世界最大級の25トン真空誘導炉(VIM)や真空アーク再溶解炉の増設を渋川工場に行い、高級鋼の生産能力を増強することで、半導体や航空機向けといった成長分野のビジネス拡大を進めてきました。

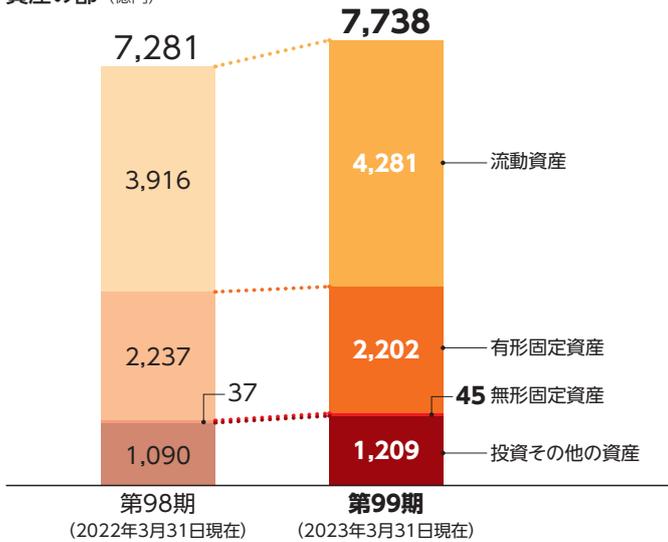
当社はこれからも、成長分野のビジネス拡大に注力し、社会への貢献と当社事業の安定化に努めていきます。



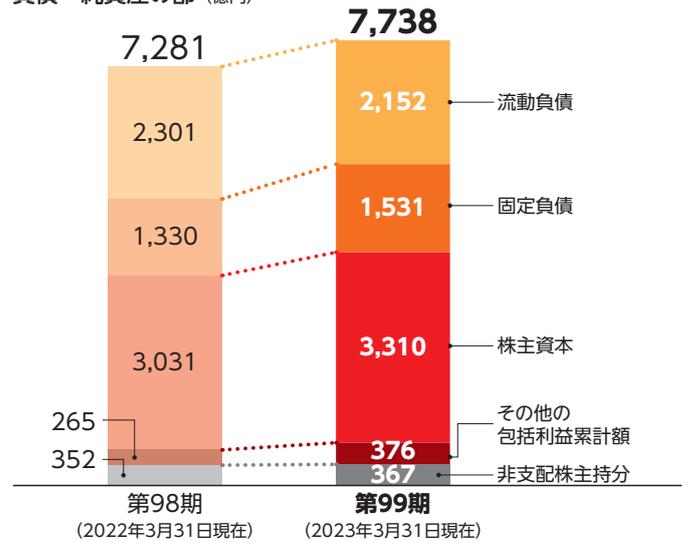
真空アーク再溶解炉 (VAR)

財務の状況

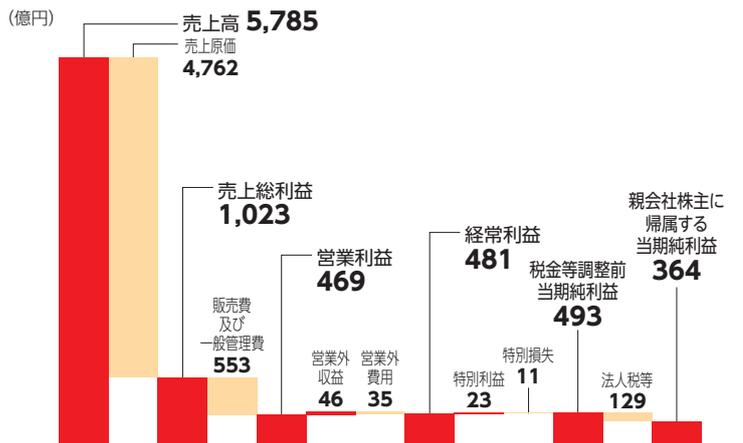
資産の部 (億円)



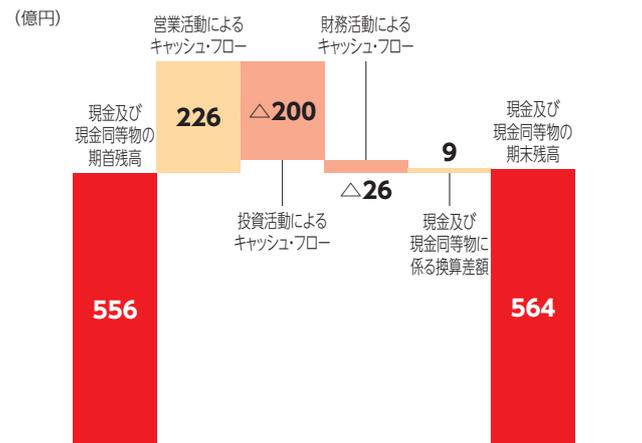
負債・純資産の部 (億円)



損益の状況 2022年4月1日～2023年3月31日



キャッシュ・フローの状況 2022年4月1日～2023年3月31日



※金額は、億円未満を切り捨てて表示しています。

ESG説明会を初開催＆「ESG推進統括部」を新設、ESG課題への取り組みを強化

2022年12月19日に、当社として初めてのESG説明会をオンラインで開催し、報道機関や証券会社、アナリストなど約60人が参加しました。今回は「E」にあたる環境に関して、当社のカーボンニュートラル(CN)の取り組みや現在までの効果を説明したほか、CNへの貢献が期待される製品やお客様のCO₂削減を推進する商品などを紹介しました。

また、当社のESGに関わる非財務課題への取り組み体制の更なる強化を図るため、2023年1月にESG推進統括部を新設しました。発足以降人権方針の制定や健康経営の充実など、活動を推進しており、今後ESG課題への取り組みをさらに強化していきます。



ESG説明会で説明する西村副社長

会社・株式情報

会社概要 2023年3月31日現在

社名 大同特殊鋼株式会社
英文社名 Daido Steel Co., Ltd.
本社所在地 〒461-8581 名古屋市東区東桜一丁目1番10号
アーバンネット名古屋ビル
創業 1916年8月19日
設立 1950年2月1日
資本金 371億7,246万4,289円
従業員数 12,422名(連結) 3,283名(単独)

取締役 2023年6月27日現在

代表取締役会長	石 黒 武
代表取締役社長	清 水 哲 也
代表取締役副社長	西 村 司
代表取締役副社長	山 下 敏 明
取締役	梶 田 聡 仁
取締役	岩 田 龍 司
取締役	鹿 嶋 忠 幸
取締役(社外/独立役員)	平 光 範 之
取締役(社外/独立役員)	山 本 良 一
取締役(社外/独立役員)	神 保 睦 子
取締役常勤監査等委員	志 村 進
取締役常勤監査等委員(社外/独立役員)	水 谷 清
取締役監査等委員(社外/独立役員)	松 尾 憲 治

株式の状況 2023年3月31日現在

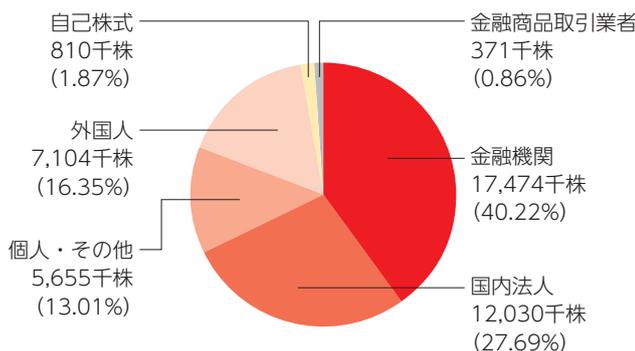
発行可能株式総数 116,000,000株
発行済株式の総数 43,448,769株
(自己株式 810,978株を含む。)
株主数 19,449名

大株主(上位10名) 2023年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,124	9.67
日本製鉄株式会社	3,100	7.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,418	5.67
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.86
株式会社みずほ銀行	1,577	3.69
日本発條株式会社	1,449	3.40
本田技研工業株式会社	1,305	3.06
株式会社三菱UFJ銀行	1,214	2.84
トヨタ自動車株式会社	869	2.03
日鉄興和不動産株式会社	749	1.75

※自己株式は除いております。

所有者別株式分布状況 2023年3月31日現在



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL <https://www.daido.co.jp/koukoku.html>
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
上場取引所 東京証券取引所 プライム市場
名古屋証券取引所 プレミア市場

未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



Webサイトのご案内

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。

